

学校だより

第9号



平成27年12月22日発行

節目の大切さ

校長 鈴木 久之^{ひさの}

9・10・11・12月と1年間の中でも最も長い2学期が終わろうとしています。私たちの生活は、1日、1月、1学期、そして1年と、区切りをつけて進んでいきます。この節目節目をつくるのがとても大切な気分転換になります。

学校は、七夕には笹飾り、正月にはたこ作り…と、季節の節目があり、とても季節感に満ちていて心の潤いがあります。そして、「やまもも祭」「駅伝大会」…と学習成果の発表の場という節目があり、子どもたちはその日を目標にみんなで協力し力を発揮することでさまざまな成長をみせてくれます。

私たちがなぜ節目をつくって生活しているのかと考えると、おそらく反省と目標のためだと思います。今までの生活を振り返り、改善していかなければならないことを考える。そして、これからどんな生き方をしていこうか、目標を立てる必要があるから、こういう節目があるのでしょう。



「一年の計は元旦にあり」と言われます。今年の漢字は「安」という漢字でした。「安」が選ばれた理由は、テロや自然災害で安心が脅かされたことが主な理由とのことでした。来年は、本来の意味での「安心・安全」が訪れるよう願ってやみません。学校でも、引き続き、安全・安心な学校づくりに努力していきます。

今までの自分から目標とする新しい自分へ、どうやったらめざす自分になれるのか。新しい年に、どんなことに、どんな風に挑戦していくのか、具体的に目標を立てるようにしたいものです。

よいお年をお迎えください。

【学校改善に向けた取り組み】 **授業参観週間**

■ 保護者からの参観アンケートより

「授業」と「学習環境」について、各項目とも概ね「適切である」「とくに問題はない」という評価でしたが、その他、御指摘や御意見には、次のようなものがありました。

- ・外での体育の時に見学の生徒は寒くない場所で待ってられるようにして欲しい。
- ・掲示物を画びょうで留めている箇所、画びょうが落ちないようにテープ留めをしているが、そのテープがはがれてしまっている箇所が見られ、危なく感じた。
- ・廊下で、所々、滑りやすい箇所がありました。
- ・生徒に、熱心に優しくかかわっている先生もいますが、上からの目線で生徒にかかわっていると感じられる先生も見られました。
- ・いつも子どもに合わせた指導をしていただき感謝しています。見ていて気になったのは子どもへの声かけです。次に何をやるのか、どこに行くのか等を、もう少し本人が理解するまで、繰り返し伝えてもらえると安心すると思います。

※お寄せいただいた御意見は、職員で共有し、改善に向けた取り組みをしていきます。